



平成 24 年度の主な事業

【みんなで創る自立したまちづくり～協働社会の形成～】

- ・国際交流推進事業経費 1,416 万円
- ・地区センター管理運営経費 1 億 3,981 万円
- ・地域づくり推進事業経費 2 億 6,734 万円

【未来を拓く人を育てる学びのまちづくり～教育・文化の振興～】

- ・小学校施設整備経費 19 億 5,040 万円
- ・中学校施設整備経費 2 億 260 万円
- ・生涯学習推進事業経費 637 万円

【健康で安心して暮らせるまちづくり～保健・医療・福祉の充実～】

- ・保育所保育事業経費 20 億 5,922 万円
- ・児童手当等経費 20 億 1,505 万円
- ・自立支援給付等事業経費 15 億 8,922 万円
- ・介護保険特別会計繰出金 14 億 6,025 万円

【賑わいと豊かさのあるまちづくり～農・商・工の産業活性化～】

- ・緊急雇用創出等事業経費 3 億 2,600 万円
- ・地域産業技術高度化支援事業 2,159 万円

- ・観光振興経費 4,071 万円
- ・中山間地域等直接支払い事業経費 10 億 919 万円
- ・国営土地改良事業 15 億 8,554 万円

【豊かな自然と共生する快適で安全なまちづくり～生活環境の充実～】

- ・地域エネルギー推進事業経費 3,020 万円
- ・交通運輸事業経費 8,463 万円
- ・公害対策事業経費 5,799 万円
- ・消防施設設備整備経費 1 億 111 万円

【安全で心地よい生活空間のまちづくり～都市環境の整備～】

- ・道路新設改良費 9 億 6,983 万円
- ・住宅対策経費（被災住宅支援ほか） 2 億 3,803 万円
- ・中心市街地整備推進事業経費 2,930 万円



今年度、校舎建設に着手する前沢区統合小学校

奥州市の家計簿

市の予算はその仕組みや財政独特の用語など難しい面があります。より身近に感じていただけるよう、家庭の収支（年収 400 万円世帯）に例えてみました。

《収入》

- ◆給与（市税） 75.9 万円
- ◆パート収入（使用料・手数料、諸収入など） 6.7 万円
- ◆親からの援助（交付税や国県支出金） 197.8 万円
- ◆預貯金の取り崩し（繰入金） 3.4 万円
- ◆新規ローン（市債） 103.2 万円
- ◆繰越金 1.3 万円
- ◆その他の収入（雑収入） 11.7 万円
- ◆合計 400 万円

《支出》

- ◆食費（人件費） 53.4 万円
- ◆医療費（扶助費） 53.3 万円
- ◆ローンの返済（公債費） 51.0 万円
- ◆光熱水費や生活用品（物件費） 44.9 万円
- ◆住宅の増改築や修繕費（普通建設事業費など） 45.3 万円
- ◆保険料や町内会費、交際費など（補助費等） 107.9 万円
- ◆預金（積立金） 2.5 万円
- ◆子どもへの仕送りや友人への援助等（繰出金、貸付金など） 41.4 万円
- ◆予備費 0.3 万円
- ◆合計 400 万円



特別会計・企業会計予算

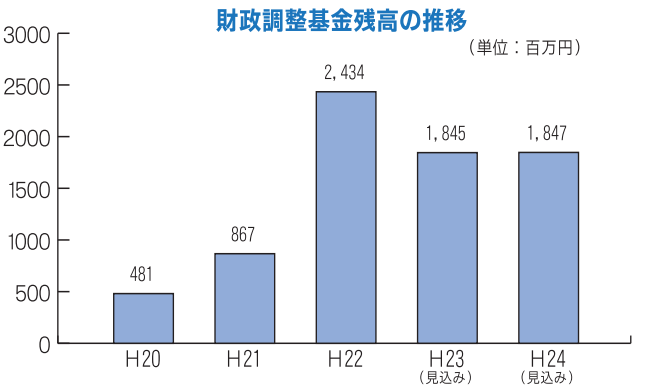
特定の目的で事業を行う会計を特別会計、企業会計と言います。市では9の特別会計と4つの企業会計があります。24年度の当初予算額は次のとおりです。

特別会計（単位：百万円）	24 年度	23 年度	増減
国民健康保険（事業勘定）	12,791	13,052	△ 261
国民健康保険（直診診療施設）	1,021	1,028	△ 7
後期高齢者医療	1,021	1,008	13
介護保険（保険事業勘定）	9,728	9,017	711
介護保険（サービス事業勘定）	350	362	△ 12
簡易水道事業	1,196	1,273	△ 77
下水道事業	3,307	3,197	110
農業集落排水事業	1,462	1,267	195
浄化槽事業	412	394	18
バス事業	89	92	△ 3
米里財産区	12	11	1

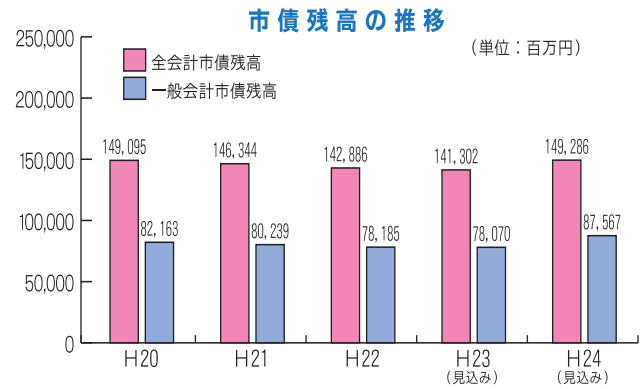
企業会計（単位：百万円）	24 年度	23 年度	増減
総合水沢病院事業	収益的支出 3,081	3,001	80
	資本的支出 629	413	216
国保まごころ病院事業	収益的支出 1,088	1,121	△ 33
	資本的支出 95	151	△ 56
水道事業	収益的支出 1,911	1,941	△ 30
	資本的支出 1,212	1,400	△ 188
国民宿舎等事業	収益的支出 230	256	△ 26
	資本的支出 2	2	0

基金残高と市債残高の推移

市の預金である「財政調整基金」は、災害などの事態に備え、蓄えておく必要があります。20 年以降は次の表のとおり推移しています。22 年度末時点で約 24 億円の残高がありましたが、東日本大震災の影響などにより基金を取崩す必要が生じました。24 年度末の基金残高は約 18 億円と見込んでいます。



市の借金である「市債」は、22 年度までに実施した繰上償還により着実に残高を減少させてきました。24 年度末は「第三セクター等改革推進債」を 92 億円借り入れるため、大きく上昇する見込みです。全会計を合わせると 1,492 億 8,600 万円の市債残高を見込んでいます。



用語解説

- 一般会計…福祉や、教育や消防など広く住民に使われる会計
- 自主財源…地方自治体が自らの権限で収入できるお金（税、使用料など）
- 依存財源…国や県から入るお金（地方交付税、国庫支出金など）

- 市債…公共施設の整備や財源不足を補完するために、長期間借り入れするお金
- 公債費…市債を返還するお金
- 扶助費…社会保障制度の一環として、生活困窮者、高齢者、子どもや、障がい者などに支援するお金（児童手当、医療費助成など）
- 繰出金…一般会計から、国保や介護保険会計へ支出したお金